

学校だより  
1月号

## みんなが笑顔になる学校！



新年、明けましておめでとうございます。

保護者の皆様・地域の皆様におかれましては、昨年は大変お世話になりました。

今年もどうかよろしくお願ひいたします。

昨年は、創立150周年記念という区切りで地域の繋がりを感じながら、学校の歩みを振り返ることができました。今年は、統合予定までの5年間を意識しながら、その歩みを進めていきたいと思います。歩みは、常に前へ踏み出していけば良いとのではありません。たまには立ち止まること、忙しい毎日の中でもふと立ち止まって現状を客観的に観ることは大切です。

年末年始は普段よりゆっくりと過ごす中で、学校の現状についてもいろいろと考えることができました。これから年度末にかけては、それらをみんなで話し合いながら、新たなチャレンジをしていきたいと思っています。社会が急激に変化する現代においては、教育も「変わり続けていくこと」が大切です。「何が大切なのか?」「そのためには、どうすれば良いのか?」このことについて学校全体で話し合いながら、また保護者や地域の皆様とも共有しながら、前例踏襲にとらわれず失敗を恐れずにチャレンジをしていきたいと思います。

子どもたちのことを考える中で、私が大切にしたいと考えているのが「朝の始まりの時間」です。本校では、児童は8:15までに登校、8:20から学びタイム、8:30から朝の会と続き、8:40から1限目がスタートします。例えば、毎日の10分間の学びタイムも一年間続けると30時間以上の時間になります。一日では変わらなくても、一年ではその差ははっきりと大きなものになります。しかし、単にこの時間に間に合っていれば良いとのではありません。学習をしていても寝不足の状態でくびをしながらというのであれば、学習効果は望めません。

子どもたちの学びの環境を整えることは、ご家庭の協力も必要になります。テレビやゲーム・スマホなどのスクリーンタイムが学力との相関が高いというのは、全国学力学習状況調査等の結果からも明らかになっています。子どもとの話し合いの中でこれらの時間に一定の制約を設けること、また子どもたちに自発的な学習を促していくことは、学校だけではできない大切な役割であると考えます。保護者の皆様には、「早寝・早起き・朝ごはん」を基本に、昨年とは違う新たな生活習慣の構築へご協力を願います。

学校でも「チャイムスタート・チャイムエンド」によって時間をしっかりと意識していくとともに、すべての子どもたちに「探究する楽しさ」や「できる喜び」を感じてもらえるような授業を展開していきたいと思います。また、小規模校の強みを生かし、一人ひとりの児童に寄り沿うことで、更なる学力の向上を図ります。学校づくりやクラスづくりにおいては、民主主義や人権、道徳というものを重視しながら、すべての子どもたちが安心感を得られるような学校「みんなが笑顔になる学校」づくりを進めます。

